



<http://www.yakushin.jp>



躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

- ②面 今年も変わらぬ一番の注目商品!
- ③面 完璧なシロアリ・腐朽菌対策を!
- ④面 「マンションストック長寿命化等モデル事業」創設へ

発行所
埼玉県さいたま市
見沼区中川106-1
☎048-688-3388
☎048-680-7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価: 220円(送料込み)



第二十二期
誓願出陣式

令和の時代は
漸進主義の年輪経営!

躍進は、二月八日に第二十二期の「誓願出陣式」を開催いたしました。今年度は令和になり二年目を迎えることができましたのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物と心得ております。

会場には、社員をはじめ、躍進のサポートメンバーが集結。今年のスロガンである「前へー前へー喜び勇往邁進!」を誓いあいました。今年度は令和になり二年目を迎えることができましたのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物と心得ております。

新社屋が平成二十二年二月十八日に落成し、同二月十二日より営業を開始して以来、一年目に突入いたしました。このような時代に、躍進は「漸進主義の年輪経営」を実施していく所存です。一年ごと確実な実績を残し、樹木が年輪を重ねるように成長していくというものです。



今年度も、塗装を中心に、幅広い分野にチャレンジいたします。よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

二〇二〇年は、一九六四年(昭和三十九年)に続いて、東京において二度目のオリンピックが開催される年でもあります。時代も令和になり、まさに新しい「章」のページを開いたわけで、その二年目を飾るのに相応しい世紀のイベントといえましょう。

そして、二〇二〇年現在の住宅業界を振り返れば、まさにその進化は目覚ましいものがあるといえます。

例えば、それまでの次世代省エネ基準から変わった「改正省エネ基準制度」では、エアコンや給湯器などにまで評価基準を設けることになっております。これにより、大幅に光熱費は減少します。

一九九二年(平成四年)の新省エネ基準住宅と比較すると、約六〇%もの光熱費を削減できており、一九九九年(平成十一年)の次のように進化してまい



代表取締役 笠井 輝夫
たすべき躍進の果
そのよ
うな中、

世代省エネ基準と比較しても、約四〇%の削減が可能とされています。また、一部のハウスメーカーでは、AI・IoTを駆使した近未来型の住宅も販売しており、まさに住宅業界は百花繚乱です。

しかし、ここで一歩下がって、住宅というもののあり方を見つめてみたいと思います。詳しい資料がないので正確なことは申せませんが、

「安心・安全」は「足元と骨格を健全に維持」というものです。まさに、地域のホームドクターとして「床下点検から始まる住まいの予防医学」を実践していくこととです。

床下点検で足元をみつめ、確かな防水・塗装で住まいの骨格を守ることが、令和の躍進の使命・責務と心得ております。今後ともよろしくご指導ください。

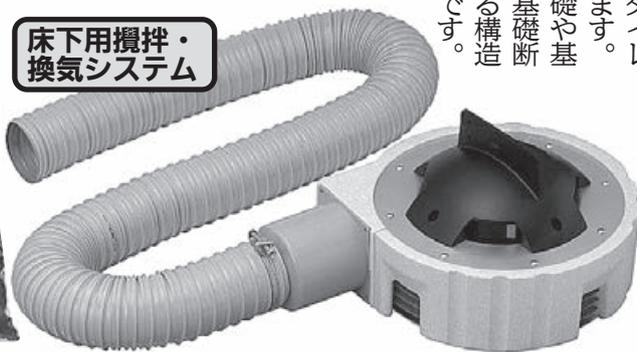
足場パック
スプリング
キャンペーン

今年も変わらぬ 一番の注目商品!



おかげさまで、
「足場パック」の
目玉商品と
なりました。

床下用攪拌・換気システム



躍進のリフォーム総合提案「足場パック」は、現在スプリングキャンペーンの真っ最中です。そして、この時期に一番注目されている商品は、床下点検とともにシロアリ・腐朽菌対策の目玉商品となった『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下三点セット」(写真参照)です。

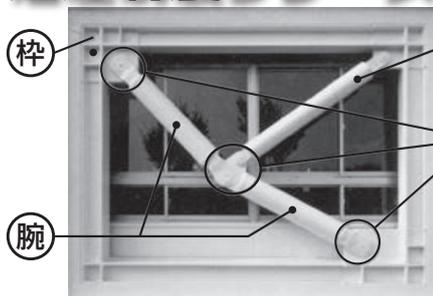
一坪あたり約十二袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

「足場パック」は、床下点検からはじまる家の総合的な再構築です。防水や外壁・屋根の塗装など様々な提案の最初に、文字通り家の基礎、土台である「床下の健康」を「案内いたしておきます。この機会にぜひ「床下三点セット」をご利用ください。お気軽にご連絡を。

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ!

増幅機構付き 油圧制震ブレース



オイルダンパー

日立オートモティブシステムズ(旧トキコ)社製。
半永久的に使用が可能です。

クレビス(回転支承部)

強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。一般的に疲労度が大きい箇所や剛性が必要とされる部分に使われます。

ますます好評!

トグル制震構法

鍛造品ではなく
鍛造品を使用!

お問い合わせは
躍進までお気軽に!

〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

完璧な木材劣化診断士による床下点検でシロアリ・腐朽菌対策を!

木材保存に多くの実績を残してきた躍進には現在、四人の**木材劣化診断士**がおります(左上写真)。こうしたエキスパートによって実施される床下診断に、これまで以上の注目が集まっています。

腐朽と虫害の診断技術の専門家

木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。外構を中心する木

質構造物の生物劣化の現況を診断する能力を持っています。

また補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

さらに木材劣化診断士が習得した診断技術は住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の基礎と劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握します。

木材劣化診断士証
登録番号 第414号
氏名 関雄介
規定に基づき、木材劣化診断士名簿に登録したことを証します。
なお、この規程による木材劣化診断士証の有効期限は2022年10月31日までです。
2019年11月1日
公益社団法人日本木材保存協会

木材劣化診断士証
登録番号 第416号
氏名 三塚正樹
規定に基づき、木材劣化診断士名簿に登録したことを証します。
なお、この規程による木材劣化診断士証の有効期限は2022年10月31日までです。
2019年11月1日
公益社団法人日本木材保存協会

木材劣化診断士証
登録番号 第415号
氏名 笠井正行
規定に基づき、木材劣化診断士名簿に登録したことを証します。
なお、この規程による木材劣化診断士証の有効期限は2022年10月31日までです。
2019年11月1日
公益社団法人日本木材保存協会

木材劣化診断士証
登録番号 第417号
氏名 宮内淳一
規定に基づき、木材劣化診断士名簿に登録したことを証します。
なお、この規程による木材劣化診断士証の有効期限は2022年10月31日までです。
2019年11月1日
公益社団法人日本木材保存協会

一次診断では視診・触診・打診と報告書作成を行い、二次診断では、含水率計測、ピロディン、レジストグラフ、超音波伝播速度、腐朽診断キットなど機器類を用いた診断を実施します。三次診断(精密診断)では、形態観察、培養・遺伝子による識別などを行います。

木材劣化診断士の資格付与制度は、とりわけ保存処理木材(注入処理)の製造者が、使用下にある木材製品の維持管理を行うことにより、製造者としての社会的責任を果たすための活動の一環として開始されました。そして、木材劣化診断士は一般住宅や外構施設における木部の腐朽や虫害(生物劣化)の診断が担えるレベルの技術を習得しています。

もし蟻害や腐朽菌被害があれば、リフォームをしなければなりません。「根継ぎ」などの処置を施し、場合によっては大規模修繕、建替えなどの大きな改修工事が必要となります。

特に、基礎断熱工法を施してある場合、床下に湿気が溜まりやすくなっています。それは、基礎に断熱を施して、床下空間を室内として捉えているためです。しかし、それによって、床下に夏型結露が発生し、カビが繁殖したり悪臭が発生したり、さらにはシロアリによる断熱材や木部への被害も報告されています。これらはすべて、換気不足による湿気が原因です。

床下には「落とし穴」が多い

床下点検は、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも羽蟻が発生しやすく、見落としがちになっ

てしまいます。玄関の土間コンクリートと基礎の立ち上がり部分との間は、基本的には別打ちになるため、コンクリート同士に隙間が生じます。この隙間から上

がり框にシロアリが侵入します。

「住まいの予防医学」を實踐

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「住まいの予防医学」を實踐することです。その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を實踐する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。



通常日陰となっている外壁下の、基礎の立ち上がり部分で発見された蟻道です。さらに、日が当たるフェンスの裏側の、日陰となっている基礎部分にも蟻道が形成されます。縁側の上がり框部分のひび割れにも蟻道が形成されます。

シロアリや腐朽菌によって被害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保たれていません。床下点検からはじまる住まいの予防医学は躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

ニエース・新製品・政策・経営・インフラオペレーション

省「マンションストック長寿命化等モデル事業」創設へ

国土交通省は二〇二〇年度予算案において、老朽化マンションの長寿命化等に向けて、先進性が高く創意工夫を含む改修等へのモデル的な取り組みを支援する「マンションストック長寿命化等モデル事業」を創設します。

「工事支援型」では、同年度予算の成立を前提としたものです。計画支

る工事のうち先進性を有するものに要する工事などに対して支援します。有識者委員会で認められた場合は、建替えの場合も支援対象となります。募集開始は四月中を予定しています。

計画や条例等を策定している(策定見込みを含む)こと等が事業要件となります。該当する地方公共団体は、同省HPで公表いたします。

都、木造住宅耐震化やブロック塀対策などを報告

東京都は二月四日、新宿区の都庁で第二四回「耐震化推進都民会議」を開催しました。住宅生産団体連合会や日本木造

住宅耐震事業者協同組合など多くの住宅・不動産団体が委員となっており、今回は東京都耐震改修促進計画一部改定素案の概要や、木造住宅の「耐震改修工法・装置」の事例選定の報告などが行われました。

耐震改修促進計画の改定では、災害時に輸送上重要で、倒壊による道路閉塞を防がなければならぬ特定緊急輸送道路沿道建築物の新たな指標と目標を設定しました。

他県との境から特定の区間までに到達できる確

率を区間到達率、区間到達率の平均値を総合到達率と設定。二〇一九年六月末時点で総合到達率九一・八%なのを、二〇二五年度末に総合到達率九〇%かつ区間到達率九五%未満の解消、二〇三五年度末に総合到達率一〇〇%を目指すとしてきました。

またブロック塀倒壊が危ぶまれることから、特定緊急輸送道路沿道建築物に付随する組積造の塀のうち、(一)新耐震基準導入以前に建築された塀(二)長さが八mを超える塀(三)高さが塀から道路中心線までの距離を二・五で割って得た数値を超える塀の三条件すべてに該当する塀の耐震診断を義務付け、耐震性が不十分な塀の除却や建て替えを促進します。

耐震改修促進計画の一部改定は今月末に行う予定です。

『ハウスメーカー 注文住宅』1位は「スウェーデンハウス」 オリコン顧客満足度調査

「オリコン顧客満足度」を展開するoricon ME(東京都港区)は2月3日、『ハウスメーカー 注文住宅』『建売住宅』『新築分譲マンション』の住宅系サービスについての顧客満足度調査の結果を発表しました。

『ハウスメーカー 注文住宅』ランキング(ハウスメーカー、ビルダー、工務店を含む。サンプル数=1万4954人)の総合上位は「スウェーデンハウス」、「ヘーベルハウス」、「積水ハウス」でした。「スウェーデンハウス」は6年連続で総合1位となり、評価14項目中11項目で首位を獲得。「ヘーベルハウス」は地域別の「東海」と「近畿」、「積水ハウス」は「東北」と「甲信越・北陸」でそれぞれ1位となりました。

『建売住宅 ハウスメーカー』ランキング(サンプル数=1514人)の総合上位は「積水ハウス」、「パナソニック ホームズ」、「ダイワハウス」でした。「積水ハウス」は10項目中8項目で首位となったほか、地域別の「関東」「近畿」、男女別の「男性」「女性」、築年数別の「7から10年以内」の項目でも1位を獲得しました。「パナソニック ホームズ」は評価項目の「住宅設備」で、「ダイワハウス」は地域別の「東海」でそれぞれ1位となりました。

『建売住宅 ビルダー 首都圏』ランキング(対象=ハウスメーカー・不動産会社を除き、施工を自社・グループで行うビルダー。サンプル数=3900人)では、「ポラス」が2年連続で1位を獲得しました。評価10項目のうち「情報提供」「デザイン」「住宅設備」「長期保証」「アフターフォロー」の5項目で1位となったほか、都道府県別の「埼玉県」「千葉県」、男女別の「男性」「女性」、築年数別の「2から6年以内」「7から10年以内」で1位となりました。

『建売住宅 ビルダー 北関東』ランキング(サンプル数=526人)では、「グランディハウス」が初の首位。全項目で1位となったほか、都道府県別の「茨城県」、男女別の「男性」「女性」、築年数別「2から6年以内」で首位を獲得しました。

『建売住宅 不動産会社』ランキング(サンプル数=695人)では、「野村不動産」、「三井不動産レジデンシャル」、「東急不動産」が総合上位でした。「野村不動産」は評価10項目中8項目のほか、地域別の「関東」、男女別の「男性」「女性」でも1位となりました。

『新築分譲マンション 首都圏』ランキング(サンプル数=7779人)の総合上位は「野村不動産」、「住友不動産」、「東京建物」でした。「野村不動産」は「マンションの構造・設計」「共有施設」「金額の納得感」など7項目に加え、男女別「男性」、規模別「大規模」、家族構成別「ファミリー」でも1位となりました。「住友不動産」は評価項目の「デザイン」と規模別「タワーマンション」、「東京建物」は規模別「小規模」でそれぞれ1位となりました。

これらの調査は、過去12年以内(『新築分譲マンション』の九州は11年以内)に注文住宅/建売住宅/新築分譲マンションに在住/入居し、ハウスメーカー/購入物件の選定に関与した人を対象に、インターネットによるアンケート調査を行ったものです。調査時期は2019年10月。

都では二〇一九年十二月に木造住宅の「耐震改修工法・装置」を選定。耐震改修工法部門で三件、装置部門で四件が選ばれ、パンフレットを作成したほか、東京都耐震ポータルサイトでも同じ内容を掲載しています。

株式会社

躍進

関連会社
不動産事業
株式会社
ヤクシンジャパン

本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
☎048-688-3388 ㊟048-680-7615
東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F
営業所 ☎03-6804-2541 ㊟03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社
株式会社
First Arrows
ファーストアローズ

事業内容

防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断